サイエンスカンファレンス　2025　参加／発表体験報告記

（1）　発表者情報

①氏　　名：鶴田湧丸　　②学校／学年：豊見城市立豊見城中学校

③指導教員名：藤田和彦

（2）　発表タイトル

沖縄の島々の粟石に含まれる有孔虫化石の比較とできた環境の違い

（3）　サイエンスカンファレンス体験報告

参加／発表や人との交流を通して得た体験や学びに関して，以下の項目について報告してください．

① 「自分が一番大切だと感じたこと」

ポスター発表を聞いてくれている人にわかりやすく説明すること。
ポスターを見る人や発表を聞いてくれる人の立場になってポスターを見直すこと。
好奇心を維持すること。

② 参加前後で「自分が新たに理解したこと」や「自分の考えや理解で変化したこと」

自分のポスターをどのように発展させるかについての考え方が変わりました。
今までの自分のポスターは、研究の目的、方法、結果、考察、結論という形に沿って、見やすく挿入してまとめるというだけのポスターだったことがわかりました。
サイエンスカンファレンスでいろいろなアドバイスをもらったり、いろいろな人のポスター発表を見たりしたことで、ポスター発表を見る人には、「研究のきっかけ」や、研究を通して「思ったこと、感じたこと、これからどうしたいか」についてを、もっとしっかり書いた方が、自分の発表する内容を理解してもらいやすいと思いました。
やっぱり自分の研究している地学の分野の発表は少なくてマイナーな感じがしましたが、これをどうやって面白く興味を持ってもらえるようなポスター発表にするか、今後工夫していきたいと思います。

③ 上記のほか，感想等

サイエンスカンファレンスは、面白い研究がたくさんあってとても有意義でした。
ポスター発表を聞いてくれている人に、分野が違ってもみなさんがわかりやすく説明していたことがとても印象的でした。同じ地学の発表をしている中学生が自分の発表を見てメッセージを書いてくれて、とても嬉しかったです。

（4）　後輩へのメッセージ

発表用のポスターを見やすいように作成するだけでなく、発表をわかりやすく、どんな風に伝えるかで聞いてくれる人たちの理解度も関心もかなり変わってきます。
発表は決まった言い方だけではなくて、どんなタイプの人にもできるだけわかりやすく、「例え」を用いたり表現を工夫したりして臨機応変にすることも大切だと思います。